

芋井地区公共施設再配置計画基本方針《概要版》

計画策定に当たり考慮すべき事項

- ★ 芋井地区の将来に必要な施設は何か
- ★ 公共施設の適性位置は何か
- ★ どの施設を何処に配置すべきか
- ★ 再配置をどのような工程で行うか

【3】再配置位置選定根拠

- (1) 交通利便性の良さ
- (2) 安全性の高さ
- (3) 芋井の拠点創出に寄与

【4】再配置最適位置と各地区のゾーン名称

《1》支所周辺	行政サービスゾーン
《2》旧中学校周辺	教育文化ゾーン
《3》第一分校周辺	コミュニティー民活ゾーン

【1】既存公共施設と将来の必要性

既存公共施設名称	必要性
① 芋井支所	○
② 住民自治協議会	○
③ 農村環境改善センター	×
④ 芋井公民館	○
⑤ 芋井小学校	○
⑥ 旧芋井中学校	△
⑦ 芋井保育園	○
⑧ 芋井児童センター	○
⑨ 芋井小学校第一分校	△
⑩ 教職員住宅	×
⑪ 芋井体育館（社会体育館）	×
⑫ 消防芋井分団詰所	○

※△は用途としては不要であるが建物を活用

【2】新たに必要とする公共施設

- ⑬ かがやき広場
- ⑭ 歴史文化資料施設
- ⑮ 小学校周辺の駐車場
- ⑯ 地域コミュニティーの場
- ⑰ 民間活用施設
- ⑱ スポーツ・集会施設

【5】再配置計画

再配置計画	再配置に当たり配慮すべき事項
《1》支所周辺（行政サービスゾーン） ① 芋井支所 ② 住民自治協議会 ④ 芋井公民館 ⑫ 消防芋井分団詰所	最も適当な位置と選定された支所周辺に機能を集約し拠点施設創出 ・左記施設の機能集約による駐車場不足対応として施設のピロティ方式を一つの解決策として提案 ・付加価値施設の誘致を考慮
《2》旧芋井中学校周辺（教育文化ゾーン） ⑤ 芋井小学校 ⑦ 芋井保育園 ⑧ 芋井児童センター ⑬ かがやき広場 ⑭ 歴史文化資料施設 ⑮ 駐車場 ⑱ スポーツ・集会施設	小中学校周辺に教育関連施設及び世代間交流施設を統合 ・芋井体育館廃止に伴う小学校の体育館活用策考慮 ・⑧は当ゾーン全域での配置考慮 ・⑦⑬⑭は旧中学校南校舎活用 ・⑮は旧中学校北校舎を解体利用 ・⑱は旧中学校体育館を活用 なお屋内ゲートボール場を考慮
《3》第一分校周辺（コミュニティー・民活ゾーン） ⑯ コミュニティー施設 ⑰ 民間活用施設	地域で最も新しい施設であり交通利便性の高い当施設を、地域及び民活利用による活性化考慮 ・多目的ホール・和室等 ・教室棟等

【6】再配置の段階的運用

- [1] 芋井支所は最も古く耐震性を有していない現状から行政サービスゾーン全体施設を含め早急に整備を図り地域の市民満足度を高める
- [2] 教育文化ゾーンについては駐車場整備を最優先とし、他の⑦⑧⑬⑭⑱の各施設は管理者の判断により移転整備
- [3] 第一分校周辺ゾーンは、⑯の継続使用を可とし、⑰は別途に活用を検討

【7】廃止となる施設の考え方

- [1] 完全に廃止となる施設は、③⑩⑪と⑥の北校舎となる
- [2] 移転により現状建物が不要となる施設は④⑦⑧⑫となる
 ・移転時期及び既存施設の取扱いには管理者判断による